

美しいまちをつくる集い

自然の豊かさを描きだす～東北の森と生きものと人と



講師 ながはた 永幡 よしゆき 嘉之 氏

自然写真家 特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会 理事

今回は自然写真家の永幡氏をお招きして、東北の自然についてお話いただきます。

著書：『巨大津波は生態系をどう変えたか』（講談社ブルーバックス）
『大津波のあとの生きものたち』（少年写真新聞社）
『原発事故で、生きものたちに何がおこったか。』（岩崎書店）
など

【講師からのメッセージ】

「東北の自然は豊か」だと、人々は頻繁に口にしますが、何が「豊か」なのか、具体的に口にできる人は決して多くない。

中国地方の山々を歩いて育った目で、東北地方のブナ林を歩くと、カタクリをはじめとした春の花が桁違いに多く、春は残雪に閉じ込められて6月まで残り、ブナの朽木に集まる昆虫も、これまた比較にならないほど多く、同じブナ林でも、生きものの数は比較にならなかった。春の花の豊かさは、降水量と湿度でもたらされたもの。虫の多さは、林の面積の広さにより保たれているもの。一方で、中国地方のブナ林には暖地性の虫たちが息づき、昆虫の種数の組み合わせでは、他にない特徴がある。

それぞれの地域の生活文化が、森を利用し、森を残す方法を生み出してきた。ブナ林の動植物を知るには、その地域の生活文化を知る必要があり、動植物の調査と同じぐらいの時間を、生活文化の聞き取りに費やして、横系としての自然科学と、縦系としての社会科学の両面から、それぞれの森の表情を読み解き、それぞれの地域の自然の「豊かさ」を読み解いてきた。

今回は、カタクリの花やギフチョウを通して、縦系と横系で紡ぎだされた東北の自然の「豊かさ」を紹介したい。

開催日時

平成31年1月20日（日）

開演 18：30～20：00
（開場 18：00）

会場

大宮ソニックシティ6階 601号室
（埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5）

参加費

会員大人 1,000 円、一般大人 1,500 円
大学生・高校生 500 円
中学生以下 無料

主催：（公財）埼玉県生態系保護協会
後援：（公財）日本生態系協会

お申込み・お問い合わせ

お電話、FAX、メールにて事前申込（当日参加も可）をお願いします。
当日申込も可能ですが、お席に限りがありますので、なるべく事前の
申込みをお願いします。

（FAX は下記フォーマットをご利用ください）

メールにてお申し込みの際は、「第2回集い参加希望」と明記の上、

① 氏名 ②電話番号 ③会員・一般・学生のいずれか をご記載ください。

(公財)埼玉県生態系保護協会 美しいまちをつくる集い担当

電話 : 048-645-0570

FAX : 048-647-1500

Eメール : manabu@ecosys.or.jp

平成 30 年度 第 2 回 美しいまちをつくる集いに申し込みます。

ふりがな		
氏名		
電話番号		
会員区分	1.会員 2.非会員 3.学生	
その他	※複数名でのお申し込みなどはこちらにご記入ください	
E-mail	※今後の開催のお知らせをメールにて希望される方はご記入ください	

いただいた個人情報は、当協会のプライバシーポリシーに基づき、当協会の活動に関する各種情報の提供や、協力・支援の依頼等に活用させていただきます。許可無く個人情報を第三者へ提供することはありません。詳しくはホームページのプライバシーポリシーをご覧ください。